

### 背景

#### 催眠

- 被暗示性の亢進を特徴とした意識変容状態を導く技術
- 催眠状態を利用して、**介入効果を増進可能** (福井, 2021)

精神疾患 (例, Rotau & Rusu, 2016) や身体疾患 (例, Lee et al., 2014) に対する**催眠のエビデンス** 多数

しかし、わが国の臨床現場



誤解や偏見の蔓延が一因

#### 催眠イメージ

- 大学生：中核的イメージ = **操作** (例, 福井他, 2022a-c; 中谷他, 2022a-h, 2023)
- AV：女性を支配して猥褻な行為に及ぶために催眠を悪用** (中谷・福井, 2022, 2023)

こうした催眠イメージは...

質問票調査で抽出不可



一般的でない可能性



#### 目的

Yahoo!知恵袋における相談内容に対する計量テキスト分析から一般的な催眠イメージを読み解く

### 方法

#### データ

- Yahoo!知恵袋データ第3版 2017年から5年分の相談の10%をランダム・サンプリング
- 催眠とその同義語を含む232件の相談

#### 倫理的配慮

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構のデータ 利用規約に則り、匿名加工されたデータを用いたため、個別の同意は不要であった

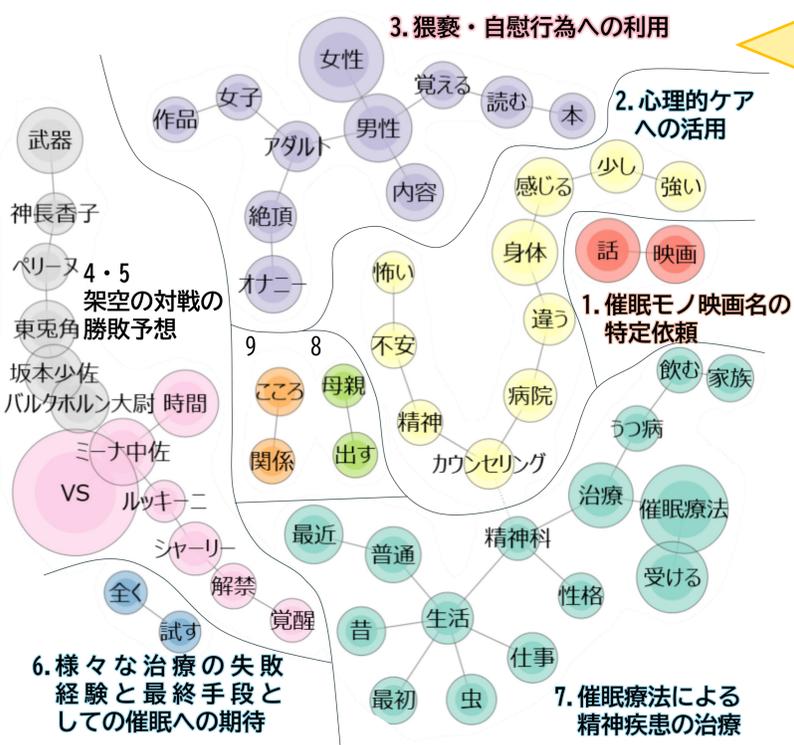
#### 分析

- KH Coder (樋口, 2020) を用いて、計量テキスト分析を実施

項目	共起ネットワーク分析	自己組織化マップ (SOM)
目的	単語同士のつながりや関係性を可視化	話題やトピックをまとめて似たテーマごとにグループ化
用途	単語同士の共起関係の把握	話題やトピックの分類
長所	共起語の関係性が一目で分かる 重要な単語や関連性の高い単語を特定しやすい	内容を大まかなテーマに分けられる 似た内容のテキストを視覚的にまとめられる
短所	頻度が低い単語の関係性が見えにくい 単語の数が多くと、グラフが複雑になりやすい	表示されるテーマの意味を理解するのが難しい場合がある
使用場面	テキスト内の単語の関係性や、よく一緒に使われる単語のパターンを分析したいとき	複数のテキストを、大まかなテーマや話題でグループ化したいとき
項目	対応分析	多次元尺度構成法 (MDS)
目的	カテゴリデータ (例: 質問×回答) 間の関係を可視化し、対応構造を解釈	データの類似性や距離感を2次元で表現し、要素同士の関係性を視覚化
用途	属性×単語のようなクロスデータの関係性を視覚化	語やテキスト間の距離や類似性を視覚化
長所	クロス表データを直感的に可視化できる 行と列の相関構造を同時に分析	データの類似性や差異が視覚的に理解しやすい 多様なデータの関係を簡潔に表現できる
短所	数値データには向かない 結果がカテゴリデータの質に依存する	高次元データを2次元に縮小するため、情報が一部失われる 解釈が難しい場合がある
使用場面	質問項目と回答や属性間の対応関係を分析したいとき	複数の文書や単語の間の類似性や相違点を視覚的に示したいとき

## 結果・考察

#### 共起ネットワーク分析結果



- 6,7. 催眠療法のような心理的ケア
- 催眠が登場する映画  
質問票調査からも得られている → 一般的イメージ
  - 猥褻・自慰行為への利用  
質問票調査では抽出できなかったイメージ → 広く一般に浸透

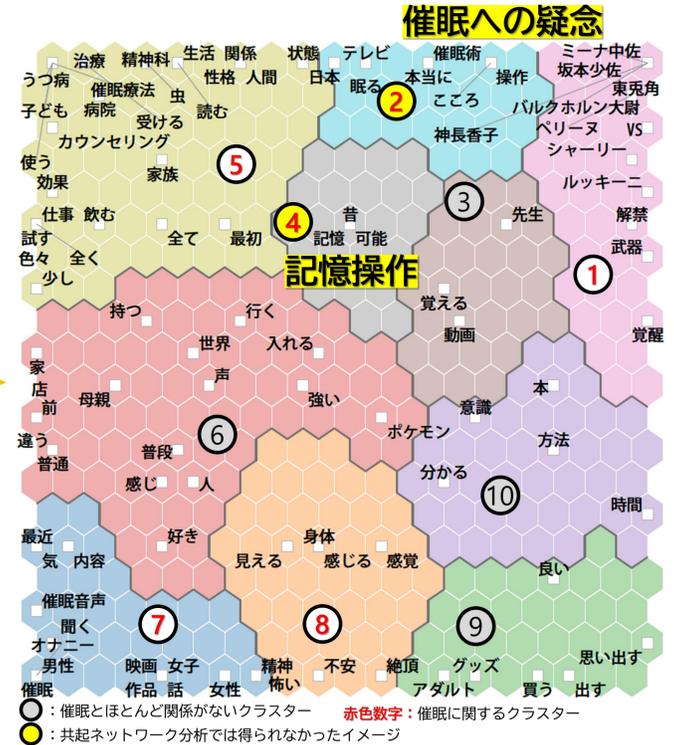
**催眠への疑念、記憶操作**

- 他の分析結果に存在しない

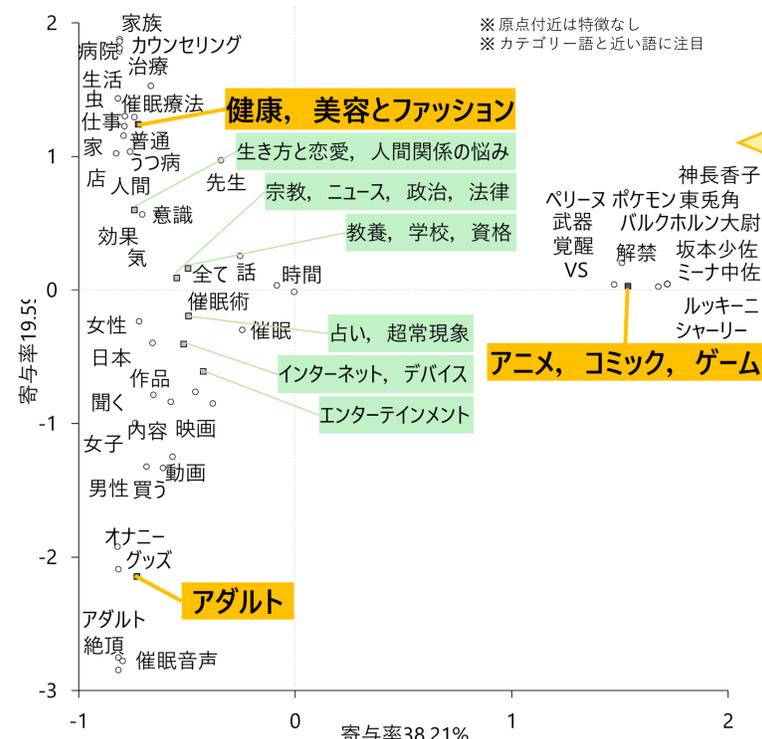
こうした疑念も、誇張・歪曲された催眠効果が描かれた娯楽作品やアダルト作品の蔓延に起因している?

**催眠についての正確な知識の普及が最優先課題**

#### SOM分析結果



#### 対応分析分析結果



- 問題や疾患に対する治療・解決手段
  - 必ずしも妥当でも肯定的でもない
- エンタテインメント作品における魔術的効果
  - 結局は、相手を操作する能力として描写される
- 猥褻行為への悪用
  - 結局は、相手を操作して支配する手段として描写される

**縦軸**  
催眠の活用対象の現実性や深刻度を表す

**横軸**  
催眠の関与の度合いを表す

#### MDS分析結果

